



姜尚中先生を訪問して

大会委員長 西岡 弘



大会のメインイベントである基調講演の講師を姜尚中先生にご依頼し、一日千秋の思いで待ちわびていましたが、このほど承諾のご返事を戴きました。

早速橋渡しをしていただいた川津会員と、実行委員長の田島会員と共に、東京大学の先生の研究室へ、詳細打合せのため上京致しました。少し早く到着したので、生い茂る大木が伝統を表徴する大学構内を見学した後、皆少し緊張の面持ちで研究室を訪ねました。

ソフトな物腰と話し方は、テレビで拝見する先生と印象は全く同じで、正直なところホッと致しました。オリンピックの福岡誘致構想を磯崎新さんと組んで行った事に話が及び、私も磯崎アトリエ出身ということで話も弾み、何から切り出そうか何を話そうかとの危惧も消し飛び、短いながらも充実した楽しい面談になりました。

百万都市では都市として少なすぎる、韓国との海底トンネル構想など九州のアジアでの位置づけについての壮大な話をお聞きしました。つい先日、基調講演のテーマ「九州共同体構想—東アジアのゲートウェイ」とレジメが送られてきました。内容はまさに研究室でお聞きしたお話が基本になっていまして、おそらく行政や企業は意を得たりと喜ぶ話題になるのではないかと思います。今大会は環境がテーマですが、もともと「海と森と建築」というメインテーマは、石油文明への基本的問いかけであって、いわゆる温暖化防止や環境保護といったことに代表される一方向からの喧騒に近い論点を意図するものでもありません。

進歩発展と環境問題というある意味では二律背反する問題を、どのように解決していくかが我々に科せられた難しい課題であり、九州共同体構想は、まさに「近代を超克するか九州国」というサブテーマに通底するものと思われます。

